

粟島浦村 海底光ケーブル民間移設に関する情報提供依頼（RFI）

【目的】

本 RFI は、粟島浦村が所有・運営する海底光ケーブルをはじめとする通信インフラの民間移設・運営の可能性を探るため、民間事業者の皆様から幅広い知見と具体的な情報をご提供いただくことを目的とします。国の補助金制度や当村のデジタル化・防災政策との連携を視野に入れ、住民生活の向上と地域活性化に資する持続可能で高品質な通信サービス提供モデルの実現を目指します。

【背景・現状】

粟島浦村では、情報通信基盤の重要性を認識し、公設公営による海底光ケーブル、陸上架空設備、センター装置を含む全ての通信設備の整備・運用を行ってまいりました。しかし、施設の老朽化や技術革新への対応、効率的な運営体制の確立が課題となっています。

特に、陸上区間においては村独自の回線提供により速度に制約があり、今後の通信需要増への対応が懸念されます。また、陸上・海底設備ともに老朽化が進み、将来的な故障や大規模な更改・維持管理にかかる予算確保に大きな懸念を抱いております。

今後は、民間事業者の持つ専門性やノウハウを最大限に活用し、より安定した高品質な通信サービスを島民に提供するとともに、特に設備の所有・運用を含め、民間事業者に移管する可能性について幅広く検討し、村の財政負担軽減とデジタル基盤の強化を図りたいと考えております。

【情報提供を求める事項】

以下の項目について、貴社の知見に基づいたご提案・情報提供をお願いいたします。

1. 貴社の事業概要・実績

・海底ケーブル関連事業、離島地域での通信インフラ構築・運営実績、補助金活用実績等。

2. 運営モデルのご提案

・現在の村所有の通信設備全般（海底光ケーブル、陸上架空設備、センター装置等）を活用した民間移設・運営モデル（例：譲渡、IRU 契約、指定管理、PFI 等）について、貴社が考える最適な方式とその理由、村と貴社との役割分担や責任範囲。

・既存の光ファイバー網や宅内設備（ONU 等）の活用可否についても併せてご提案ください。

3. 費用と収益性に関する見込み

・初期費用（設備改修・移行費用、設備更改費用等）および年間の運営・維持管理費用（故

障・老朽化対応含む)の概算。

- ・貴社が考える収益化モデルと、約 180 世帯規模における事業採算性に関する見解。
- ・国の補助金制度の活用可能性と、その場合の費用圧縮効果の見込み。

4. 提供サービスと品質向上策

- ・島民への光ブロードバンドサービスの提供内容(速度、安定性、料金、サポート体制等)。
特に陸上区間の回線速度向上策。
- ・将来的なサービス拡張性(IoT、5G 基地局への接続支援等)や、通信品質向上に向けた貴社の技術的アプローチ。

5. 保守・災害対策体制

- ・海底光ケーブルを含む通信設備全体の保守・メンテナンス体制、故障時の対応フローと復旧目標時間(RTO/RPO)。
- ・自然災害に対する冗長化・耐障害性向上策。
- ・政策連携・地域貢献への提案

6. 政策連携・地域貢献への提案

- ・粟島浦村のデジタル化推進、防災対策、観光振興などの政策目標に対し、貴社の技術やサービスがどのように貢献できるか具体的なアイデア。
- ・地域雇用創出や地元企業との連携に関する貴社の考え。

7. 移行スケジュール

- ・RFI から実際のサービス開始までの、貴社が考える標準的な移行スケジュール。

【提出書類】

- ・情報提供書(様式自由、A4 10 枚程度までを目安)
- ・会社概要、事業実績に関する資料、その他提案内容を補足する資料

【問い合わせ先・提出方法・提出期限】

粟島浦村 総務課 情報政策係

電話：0254-55-2111 (代表)

提出方法：電子メール(PDF 形式を推奨)

提出先：koudomusen@vill.awashimaura.lg.jp

提出期限：令和 8 年 11 月 30 日(月) 正午まで

【留意事項】

- ・ 本 RFI は情報収集を目的とするものであり、今後の調達や契約を約束するものではありません。
- ・ 情報提供に要する費用は、貴社の負担とさせていただきます。
- ・ ご提出いただいた情報は、本検討以外の目的には使用せず、適切に管理いたします。
- ・ 提供内容について、後日、詳細なヒアリングをお願いする場合があります。